

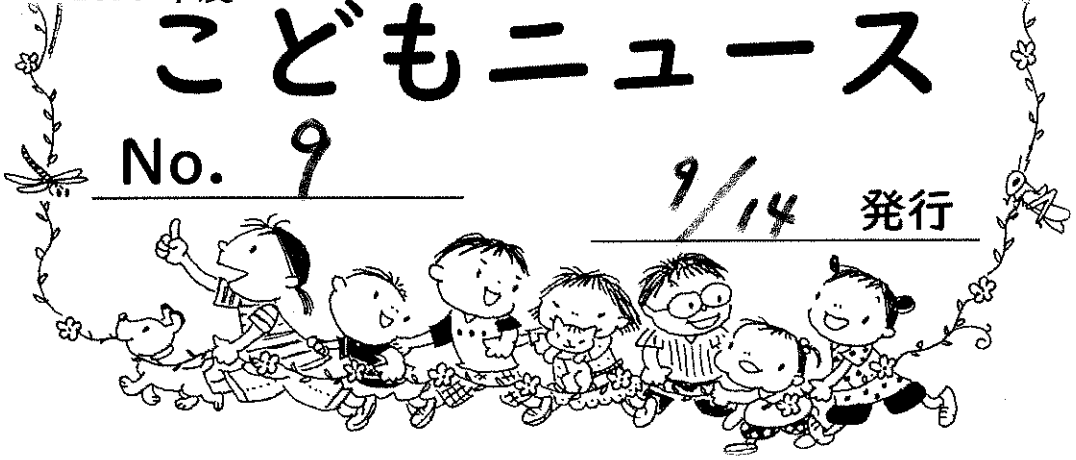
金城学院幼稚園

2023 年度

# こどもニュース

No. 9

9/14 発行



## 【バザーにむけて】

いよいよ「2023年度\*金城学院幼稚園 50 周年記念父母の会バザー」開催が近づいてきました。これまでのご準備に心から感謝申し上げます。

幼稚園のバザーは 1974 年に始まりました。開園して 3 年目から 50 周年記念の今年度まで、脈々と守ってまいりました行事です。長年、バザー委員さんを中心に会員の皆さまと幼稚園が手を携えて行ってきましたその目的には、収益だけにとらわれるのではない「会員相互の親睦」と日頃お世話になっている「地域への奉仕」という願いがありました。同時に卒園生のお店や卒園生ボランティア、卒園児保護者による「ママポンス」の公演、支える会ブースなどがあり、多くの卒園生親子、園に繋がる皆様との再会の場でもありました。まさに保育目標である「愛され、育ちあう」ということを実感、実践する日として守られてきたのです。

しかし、この 3 年間は新型コロナウイルス感染拡大のために長年続いてきた幼稚園のバザーの「開催方法」は大きな影響を受けました。準備段階での父母の会室や会議室の利用制限、当日の分散開催、人数制限…。そのような困難な状況下でも「子ども達のために」と工夫しバトンをつなげてくださったことで、今年度は 4 年ぶりにほぼ以前と同じような規模での開催を予定しております。本当にありがとうございます。

当日は会員の私たち一人ひとりが役割を担いつつ、楽しみ、関わりあう一日にいたしましょう。子ども達にとっても皆様にとっても神様に守られ、楽しい一日になりますように。

今回のこどもニュースは子ども達のバザーへの取り組みの様子です！バザーでのお買い物や準備の経験が、また遊びの中に再現されていくことを楽しみにしています。

児玉芽  9



# 年 長 あ つ ま り

## ☆自画像、描けるかな？

バザー当日、毎年エントランスに飾っている年長さんの自画像。今年度も自画像描きに挑戦です！保育者が「鏡を持ってきた？」と聞いてみると、「もう引き出しに入れてあるよ～♪」と、とっても嬉しそうに見せてくれる子がたくさんいました。子ども達は、あつまりで鏡を使うということをおうちの方に自分で伝えられたでしょうか？自分で必要な物を準備するという経験ができていたら、またひとつ成長した姿です☆たくさん褒めてあげてくださいね♡

自画像を描く日、子ども達は鏡を大切に持ってあつまりに来ました。お友だちと鏡を見せ合い、顔を映して笑ってみたり、ワクワクした表情の子がいっぱい!!とってもいい雰囲気♡早速、描き方の説明を始めると…「鉛筆はできない!」「黒しかないのは嫌だ!」などの声が聞こえ始め、張り切っていた子も何だか不安気な様子に。「大丈夫かな…」と保育者も一瞬心配になりました。しかし、やっぱり年長さんはすごい♡みんなでお互いの顔をよく見ながら、それぞれ輪郭が異なることや、毛が生えていたり鼻の穴が開いていること、ホクロがあることなど、どんどん発見していくうちに、「自画像って面白い」「私も描いてみよう」「僕も描けるかも」とやる気スイッチがオンに♪スラスラと描き始める子もいましたが、いつもと違うタッチの絵に、隣りのお友だちの絵をチラッと見たり、「口はどうやって描けばいい?」「私、こんな顔じゃない…」と戸惑う子もいました。鏡でしっかりと観察して描くことで、自分の顔を知る機会となりました。初めてのことにチャレンジした渾身の作品です。楽しみにしててくださいね☆彡



## ☆バザーでお店番します!

バザーの日に幼稚園ブースで有志の年長さんがお店番をします。年長のあつまりで募集し、初めはやりたいと申し出た子は少なかったのですが、日に日に増え、なんと12名の年長さんがお店番をすることになりました!!後日配布される“幼稚園バザー”の手紙をご覧ください。一生懸命お店番をしますので是非幼稚園ブースでお買い物をしてくださいね。

「いらっしゃいませ～」という可愛い子ども達の声が聞こえてくると思います。みなさんお待ちしております。

(Rina & Aki)



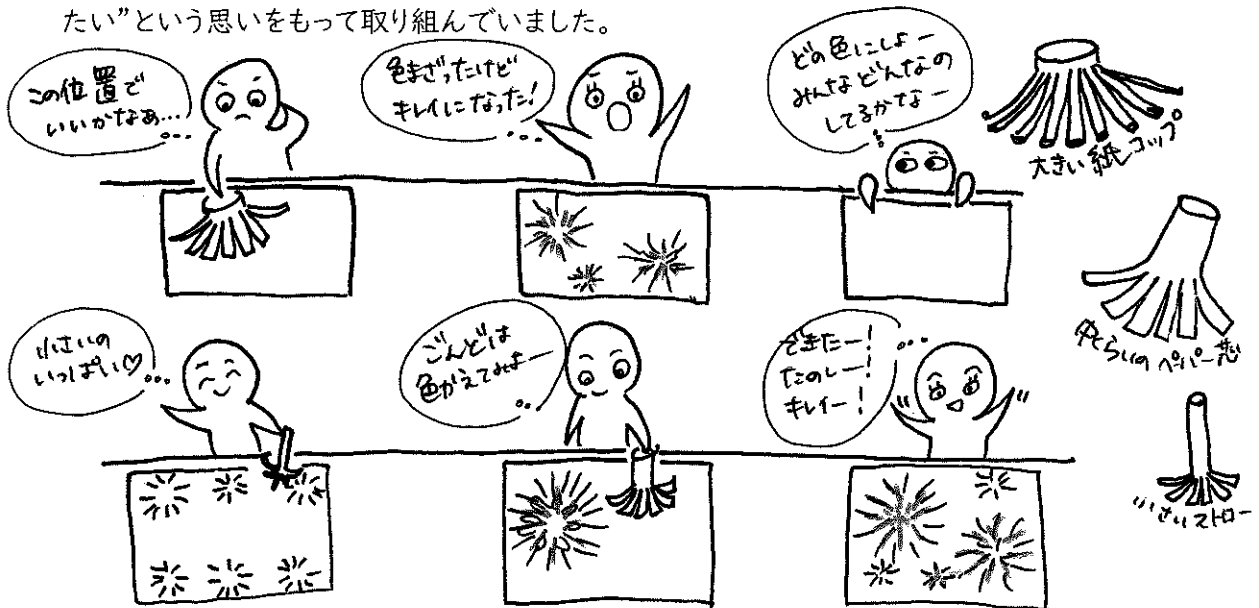
# 年中 あつまり

。。。。バザーに向けて...

【いろいろな表現方法があるね!】

クレパスやサインペンで“かく”表現方法もありますが、子どもたちのなかには「何をかいていいかわからない」「どうやってかくかわからない」と苦手意識を持っている子もいます。そんな子たちでも、「自分の思いを表現したい!」という気持ちは変わりません。年中さんのあつまりでは様々な絵画の技法に触れる機会を作っています。それは、苦手意識を持っている子たちにも表現することの楽しさ、面白さを味わってほしいという思いがあるからです。

今回は絵の具を使って“花火”を表現してみました。夏休みの間に打ち上げ花火や手持ち花火を経験した子たちもおり、「本物みたい!」「きれいにできた!」と楽しんでいました。とにかく画用紙いっぱい花火を打ち上げたい子、何色も重ねて大きな花火を表現する子、色が重ならないように一つずつ丁寧に置いていく子...一人ひとりが“こんな花火を表現したい”という思いをもって取り組んでいました。



思う存分楽しんだ後、“バザーのために...”ともう一枚、小さな画用紙にも花火を咲かせてくれました。“自分の作ったものが誰かの役に立つ!”そんな経験も年中さんの中で繰り返していきたいと思っています。

年中さんの咲かせた花火は、今度のバザーにも彩りを添えてくれています。会場に入ってくるたびに...どこにどんな花火があがるか楽しみにしててくださいね!



# 年少あつまり

年少さんにとっては、バザーという言葉も聞きなれないもの。「幼稚園がお店屋さんになるんだよ!」と伝えると、「楽しそう!」「何が買えるの??」と嬉しそうな表情に。

そんな年少さんもバザーに向けて準備を行いました。

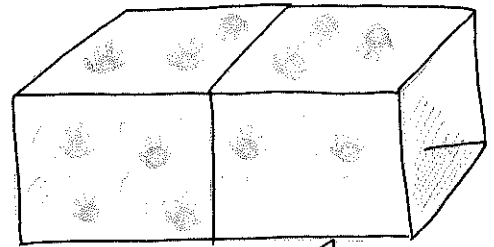
## 段ボール迷路のお手伝い

おうちの方がはと組に設置予定の段ボール迷路。そのゴールとスタートの部分の飾り付けを行いました。

白とピンクと水色の絵の具を用意して、それで手形をしました。子どもたちの小さな手がかわいく並ぶようにしてみたり、つけた手をそのまま滑らせて塗りたくってみたり……手の平いっぱい絵の具の感触を楽しみました。

また、色が混ざること発見!「なんか不思議な色になってきた」「ここ、きれいだよ!!」と混色も楽しみました。

バザー当日には、ぜひ段ボール迷路の絵の具チェックしてみてくださいね。



手型をする場所を  
考えている子!!

ココにあいてから  
しちゃお!

## エコバックを作ったよ!

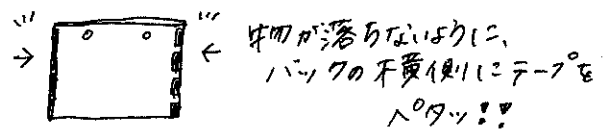
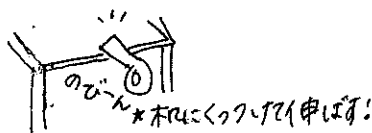
バザーでお買い物をしたときに、エコバックが必要ですよね!

そこで、年少さんはエコバックを作りました!

### ① ビニールテープ貼りに挑戦☆

【机にビニールテープの端をくっつけて、少し伸ばしてから切る】方法を伝えたところ…

「これくらい長さかな?」と確認しながら、上手にテープを切って、丁寧に貼っていました!



### ② サインペンで模様付けに挑戦☆

夏休み前に配られたピカピカのサインペンで、エコバックにお絵描き!

自分の顔を描いたり、お花やハートの模様を描いたり、自由描く事を楽しんでいました!



Point!! \*サインペンのフタは、使う時は  
おしり(後ろ)に閉める!

\*強く色をぬりすぎない! (ぬられて  
しぼり)



# にじぐみ

## お友だちが増えました!

9月からたくさんのお友だちを迎えたにじぐみさん。お部屋は一気に賑やかになりました。特に今回は在園児の弟妹さんが多くいるので、お姉さんたちがお友だちを連れて、お世話をしに来てくれています。朝の身支度を手伝ってくれ、トイレの心配もしてくれています。そんな様子を見て、他の新入園児のお友だちも安心して保育者と一緒に身支度をしたり、好きな遊びを見つけて楽しんでいます。

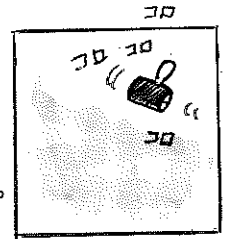
最近は頑張りすぎていた一学期からの入園のお子さんが、おうちの方との別れ際に涙している姿もあります。そんなときは保育者に甘えたり、大好きなお友だちと遊ぶことで気持ちを立て直しています。気持ちの表し方は子どもたちひとりひとり違います。そのことをしっかり心に留めて、にじぐみの皆が笑顔で安心して園生活を過ごすことが出来るように努めています。



## お買い物と言えばエコバッグ!

絵本「いらっしやい」(せなけいこ作)を見ながら、幼稚園でバザーを行う話をしました。子どもたちにとってはバザーの意味は難しかったかもしれませんが、「幼稚園がおみせやさんみたいになるんだよ。」ということには大きく反応。「おかいものするときはバッグがいる!」と言ってくれ、オリジナルのエコバッグを作ることにしました。

まずは大きな四角の紙にローラーを使って色を付けます。初めは黄色から、そして赤、青と色を重ねていきます。ローラーを使えば簡単に色を付けることができるので、みんな大喜びでコロコロコロと、どんどん色を重ねていました。色が混ざると「あー色が変わった!」と大発見もしていました。



そして乾いたら、折り紙でコップを作る要領で、大きな三角から折り進めていきます。保育者がお手伝いをしながらですが、どの子も「じぶんの」という意識があり、丁寧に折り目にアイロンがけをしていました。(おかげで手には絵の具が移ってしまいましたが)仕上げに自分の名前シールを貼るときは、とっても嬉しそうでした。「リボンで持つところを作ってあげるね。」という保育者の言葉を聞きつつも、待ちきれずセカンドバッグのようにして持ち歩く姿は、何とも言えず可愛らしかったです。

バザーの日が待ち遠しいですね。今年度はコロナ禍以前のバザーに戻つつ、また幼稚園50周年記念バザーでもありますので、大盛り上がりになることと思います。入園して間もない方は戸惑うことがあるかもしれませんが、どうぞお子さんと一緒に金城学院幼稚園のバザーを楽しんでくださいね。

